

【榎本館長からのメッセージ】

今月は本格的寒さに向かう月でもあり、乾燥も激しく、毎年インフルエンザや風邪なども流行っています。皆様、健康管理はご注意ください。さて、夢熱の2月と言えば、チョコレート実演とラン大賞。チョコ実演は大変好評で、去年は榊明治さんの協力で、チョコレート工場見学も実現。今年は？もちろん工場見学があります。更に去年の倍に参加枠を拡大！今から楽しみです。そして、もう一つの目玉、ラン大賞！去年は総応募数900点以上の作品が集まり、完成度も素晴らしい出来です。今年1000点を超えるのでは？他にも様々なイベントや企画をご用意！！ぜひ熱帯植物館で暖を取り、リトリートな時間をお過ごし下さい。 館長



季節イベントの紹介 (イベント・展示担当：関)

寒中の2月ですが、当館では熱帯らしい企画展を開催します。熱帯地域を原産地とするカカオにスポットを当てた「カカオ & チョコレート展」。カカオの生産地の様子やチョコレートができるまでの工程をご紹介します、またバレンタインデーにちなんだ企画も実施します。カカオとチョコレートについてちょっと詳しくなれる企画展です。温室には本物のカカオの木もありますのでじっくり観察してみてください！

【企画展】「カカオ & チョコレート展」(1/31~2/26)

※関連イベント

「カカオから作るチョコレートの実演」(2/4、5) 「プリザーブドフラワー教室」(2/11)

「ショコラトルのふるまい」(2/12) 「ちょこっとチョコのプレゼント」(2/11、12)

【2月のイベント】「ウィークエンドコンサート」(2/4、18) 「ハーブの学校」(2/5)

「森の学校」(2/11) 「ラン大賞」(2/12迄) 「大人のためのフラワーアレンジ教室」(2/19)

★詳しくはイベントチラシまたは夢の島熱帯植物館までお問い合わせください。

館内で見られる植物の紹介 (植物館植栽担当：横平)

「日本書紀」にも登場するツバキは、漢字で「椿」と書き、日本で作られた国字です。春に先駆けて寒中に花をつけ、春の到来を告げる聖なる木とされていました。

ツバキは、ツバキ科ツバキ属の一種です。この属は、インド東部から東アジアの温帯を中心に約 200 種があるとされ、中にはチャ(茶)やサザンカなども含まれています。このチャと近い品種にキンカチャ(金花茶)という常緑低木の種があります。中国南部にある広西チワン族自治区が原産で、1965年に発表された比較的新しいツバキです。

花の大きさは4~6cmで、花びらの色は光沢のある黄色です。それまでツバキの花の色は白~赤色系に限られていました。黄色の花が知られていなかったことと、新しい花色を作ることが出来る育種として注目されました。その後、他にも黄色い花のツバキは50種が発見され、そのほとんどが中国広西チワン族自治区とベトナム北部に自生しています。

キンカチャは、1980年に日本に導入されました。開花は日本では11~3月頃、植物館では1月頃が見頃となります。普段は栽培温室で育成し、開花している現在はイベントホールに展示しています。



▲ ツバキ‘金花茶’



▲ ツバキ‘黄鳳’

今月の花と実



▲ スターフルーツ



▲ ヒスイカズラ



▲ ナンヨウザクラ

♪ この時期の人気者 ♪

一年で一番、寒さがこたえる時期となりました。大温室は湿度がお肌にやさしく、朝一番は眼鏡が曇るほど。そして色とりどりの果実や花や葉っぱたち。海老にそっくりな「コエビソウ」が枝先に海老をたわわにつけて、お出迎えしてくれます。滝の足元では、きらめく葉脈をもつ「アミメグサ」。小川のほとりでは、ピンクの「ウナズキヒメフヨウ」が控えめに開花中。風邪の予防も兼ねて、しっとり温室にぜひ足をお運びくださいませ。

【サード入券】
一杯無料
2/1~2/28